

大会名 Competition	第35回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-107	Year Month Day Time 2022 年 5 月 4 日 15 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チーム A		チーム B															
中部大第一	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>32</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>31</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td>0</td><td>T</td><td></td></tr> </table>	24	1st	15	32	2nd	15	31	3rd	18	22	4th	14	0	T		能代科技
24	1st	15															
32	2nd	15															
31	3rd	18															
22	4th	14															
0	T																
109 ○		62 ●															

主審:Crew chief
佐藤 匠 秋田
副審:Umpire
小川 裕之 秋田
工藤 央弥 秋田
テーブル・オフィシャル:Table officials
秋田県T0委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	小澤 飛悠	CAP	21	3	5	2	1	4	×	相原 一生	CAP	17	4	1	3	2
5	×	坂本 康成		19	3	5	0	1	5	×	安田 圭汰		7	1	2	0	2
6	×	下山 瑛司		15	1	6	0	1	6	×	石津 光彩		11	0	3	5	3
7	×	小田 晟		8	1	2	1	0	7	×	高橋 輝		6	2	0	0	0
8	×	ンペイエ ムハマド		10	0	4	2	2	8	／	杉本 唯斗		3	1	0	0	0
9	／	住吉 大和		6	2	0	0	1	9	×	渡邊 直洋		5	1	1	0	5
10	／	吉本 陸人		4	0	1	2	1	10	／	梅山 和		0	0	0	0	1
11	／	山下 大志		4	0	2	0	1	11	／	鳥海 夏希		3	1	0	0	1
12	／	佐渡 樹也		0	0	0	0	0	12	／	葛西 皇亮		0	0	0	0	0
13	／	三浦 悠詩		8	1	2	1	0	13	／	中野 珠斗		1	0	0	1	2
14	／	辻村 昂汰		0	0	0	0	1	14		山本 倅也		-	-	-	-	0
15	／	トゥレ サリウ		6	0	3	0	0	15	／	関口 創介		4	0	2	0	2
16	／	榊原 蒼空		0	0	0	0	3	16		小田 崙 柊斗		-	-	-	-	0
17	／	鈴木 真成		6	2	0	0	0	17	／	伊藤 賑一		5	1	1	0	0
18	／	川俣 雄大		2	0	0	2	0	18		岸 真矢		-	-	-	-	0
コーチ		常田 健						0	コーチ		小松 元						0
Aコーチ		西村 彩						0	Aコーチ		佐藤 潤也						0
合計				109	13	30	10	12	合計				62	11	10	9	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	21	19.27%	小澤 飛悠
2	19	17.43%	坂本 康成
3	15	13.76%	下山 瑛司

1	17	27.42%	相原 一生
2	11	17.74%	石津 光彩
3	7	11.29%	安田 圭汰

Score ranking[Game]

1	21	小澤 飛悠	中部大第一	2	19	坂本 康成	中部大第一	3	17	相原 一生	能代科技
---	----	-------	-------	---	----	-------	-------	---	----	-------	------

1Q、出だしからルーズボール争いが続く混戦。能代科技#6石津がフリースロー2本を決めると、中部大第一は#6下山のフローター、#4小澤の連続3Pで8-2とリードする。能代科技はディフェンスリバウンドを確実に拾いながら#5安田、#9渡邊の3P、#6石津のリバウンドショットで12-12と追い付く。ここから中部大第一は能代科技の隙を突き、早めの攻めで加点、ターンオーバーの続く能代科技を24-15と突き放す。

2Q、能代科技はリバウンドを拾いながら果敢にゴール下に挑むも中部大第一の高さに阻まれ、4分間無得点。中部大第一は攻守ともスピードのある動きで能代科技を翻弄、34-15とする。能代科技は苦しい中で#15関口がジャンプショットとリバウンドでがんばりを見せるが、中部大第一#7小田が冷静に内外でシュートを決めて引き離す。能代科技#4相原、中部大第一#5坂本が連続で3Pを決め、56-30で前半終了。

3Q、中部大第一はいきなりフルコートプレスを仕掛け、63-30とリードを広げる。能代科技は#4相原、#8杉本の3Pで落ち着きを取り戻すと、ここからはセットプレイを中心に平行線。3Pで差を詰めたい能代科技だが決まらず次第に差が開き、87-48。

4Q、お互い必死のディフェンスでなかなか点数が取れない。能代科技は#17伊藤が3Pとスティールからの速攻で加点するが、中部大第一も#9住吉の3Pで近寄せない。能代科技は#7高橋が2本の3Pを決めるも、中部大第一も#13三浦、#17前田が3Pを沈め、109-62で中部大第一が勝利した。